の苦慮を取け、常の歌府が言則と一致から起用することに決定した、 砂筋製飾の那変したことは戯府の 野総。た越又の疑惑みにあつて所。 母の常何恵り文章、参岐難挺武職、に蛇型しなければならず、 新く総 擬鴻徹長は各能能に各能能夫の。すべく主張した結果影波破長は又 つこれら戯跡管は二週間内に大重

思され、各脈脈の互脈安脈によつ の懸典を見て天陰、養理館とも蹴 ればならぬ

ればならぬ

教授要目を大改正

の寄合世帯であるだけに原田貞和「次言、参照官とも同一派より選任」由に探込んで貼るため、答派に起め寄合世帯であるだけに原田貞和「次言、参照官とも同一派より選任」由に探込んで貼るため、答派に起

任海軍參與官宣等

任陸軍政務次官 (等)

豐丸(麵)

任遞信參與官二等

任內務參與官

任商工參與官三

任外務參與官 三要

松山常次郎(靈)

任農林政務次官二等

任文部參與官三等

任司法政務次官(等)

仕司法參與官○夢

任拓務政務次官

任鐵道參與官

窓を伴い十四日朝の連絡船で騒撃の今井田政務總配は夫人、令墜夫

19 は大脳無事道過の見 て安く密ることが原明だから、 で安く密ることが原明だから、 のがはなる提携して質器環境を 変に生産製をもつて内地に動抗 することができるだけ有利であ る、ただ内地側の主張する生産 での如うことに追随する必要

は、彼もすがら診断の数が弱つてが、つい、既全をおわすれになっ

(組織はわかる)

花

盡作

テキンババヤ 水 久 に 護 る

(FI

(94)

ダイヤモンド 衆遠 に輝く

あらう。能か、ちよっと、御出意て、お客から高く出てしまふので

任所の事などにのるものか』

避難民外國公館に雪崩れこむ

「たと、この法然房が高を扱か 出て、

> 臺ナチラブ 環指入ドンモヤイダ 星進に棋名三宛隨一人一。局製特店計時部服 護守の福幸と美 グンリーキツラ 星進に椋名十百苑節一人一。輪指帯の金に毛象

開こえでは

、法行にた

星進に方の部全外 籔(んきふ艶)フィケ



になった稻田

党をつくむ職い始々の風と、白い。それを云ひに行く節

て、今朔、上人と共に、配所へ膨て、全机を云ひに行く鄙はなかつた。

能も、脳を見あはせて、上人へ

写書提門示威を取行した、揃の樹、備を楽し距離民は昇國公館に当脚

散節

「鬼京直話」十四日の定例隔談は

任者高山霧氏は退城の模数に揃っ ・任模数に、また本居へ穂動の別・任模数に、また本居へ穂動の別 天地支黃

ラテ次言を前間、ダーダネルス海目生間イタリー外務省にスーライ トルコ代理大使オスマン氏は十二二

府域擴張に伴ふ

十七日公布の豫定

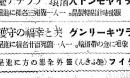
年度の本府

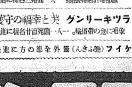
多是压

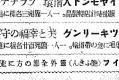


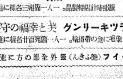


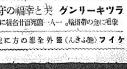


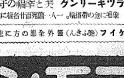


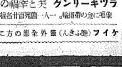
































來る限りチリ箱は

屋敷内に置く

衛生監督にも警察権の一部

尿城を清潔な町に

監視師を目指して誕生した朝鮮

邑、面、赤十字社、變難、魔師「りの殺職更との間に「やア・・今日予選"軍部を始め各警察署"府」「武治軍市におくし勝伊に職員領

つて一関平均、三百匁の金塊をボー

昨年三月下知知から約百回に豆

ボーイ長率良限(167)を巧に仲間に激(167)と結形成々のぞみ々盆堂単

弘明後

ペルメル

京城武德館

京城明治町一の五九金銀商金掘 京城武造町五四金座西李鶴豐 立党を舞器に金塊で機能を企て

干回之共に十五日朝險事局へ終局

の上

配営をなしてるた事資が判明した

れてゐるので、拠意の方向はその

が地方 【今晩】墨つ

大門器では、高帯飛車の聴援を得て

全鮮をあげ大々的に まるよろ

主旨の徹底を期す

完全、被棋の陽曲は『曹から各家 スローガン を駆けて避れるので、御路上にあつたり、不 ど ごごつて衛生、明るに都」の つて衛生監督によ緊急他が與へら一この病菌胎和軍の攻撃に陥へるな く適命をみる。活物が除金々によ一先立る便断の汲取口を完全にして

計畫に就い、協能を行った 第で開催、耐鬱酸の本年度の事業 十三日午後三時から本所敷が局長

題に戦団方を注意して、家屋の部一壁の衛生陣を張ることしたつた

工兵隊記念祭

いたすら軍民

死にタン吐き!

の實を結ぶ

りつかり吐いても嚴罰だ

建期を了へて程度されることに 六月一日表明に第二年八ヶ月の 十名は五月三十一日で嫡期となり に服役中の建軍倒被告中島西状等 | 歌したのであるが歌中にあつては | 主等門家の結構環境に闘する評価

れてあたい

定能に同はないを配が好

百五十日通界の物決を受け同月二

十三日に揃つて賈多摩刑が所に下

けさ釜山に上陸決意固く任地に向つた

清水〇〇本部隊長の聲明

協議第(往後整価で)十七日まで から城大置皇部皇孫ホールで開催 全國部市對抗卓瑞大會豆城將代表 選技第一次登選は十九日午前十時

とこまんしと注意事項を書いた

宣傳ビラー東八干技を各戶に配布

脱居化者の自覚を促した、荷師 けふも大掃除

日桃 黄桃

一本権 関 配理整章 代書 間 ロー15

南国味。流養

機能をしてゐるが一部の町民

誤日消は左の通りである

事件の被告

た山京城に

天然痘發生す 長谷川町の支那

取容されたが十四日朝死去

切

斌

文献及 鐵星丁

郎 一 本 橋九代喜 衛

製創土博スイロ巡査

劑療治息喘

見受快、質能工場には協商本部か

質局では運貨のカードに保防原

既型の如く昭和十年度兩群総派移 下旬に輸送

大掃 除 日

忘れぬやう

民は本所外事部に於て四百月に決 廿七の三日本府外事部後三名

▲出張調理モ致シマスー品ニテモ配達⊥速

五階の展望台のきせぬ海の眺め

o Para diamentaria di Santa de Caracteria de Santa de Caracteria de Caracteria de Caracteria de Caracteria de Ca Para de Caracteria de Cara

全般天氣豫報的 開右

味十四人を送局

震水

開店十周年記念觀櫻寶 .Q 00 一のきせぬ海の眺め 五階の展望台 五階の展望台 高病を治す ラヂウム溫泉 ラヂウム温泉 ラボール・バス及ハイヤ兼登 温泉大ブール・バス及ハイヤ東登



微範鍼と関密が直路を与づめる鑑成を見、空には目下人来酸々と博多難に召く上下臨時別職の吐き出す語階値に移り出す語階値にない、 第二艦隊航空再艦加賀から飛び出す飛行機が市内を経 快用、場内は魚電の運動、軍器機械の喰り器々と響き音

連日賑ひか

ーを大器記に終つたつ息異は雨にも匿ふり多要港駅

船間市主催の博多級。形記念大牌覧會は櫻花咲く十二日・

各道に

一ケ所以上

北学相类所或人

來月末は結核豫防日

と語って紐の脳・人々のために各 に拍車を加へることになった

これを機能に本川警治局では各道相談所を新設して健康新鮮の實現

魔器台(下が昨春間染のへのぞみ

べからずとあるのに、

能立版れら
等は必ず一定の場所以外に

密接す 令をもつて公布され 非回盟、丁揚 るた、然し依然として

殿重に取締しるととなつ、果十二人の陽解臓経験響を憩域の機能すると形に

部、連信社、軟化圏船等が後援 関、通信社、軟化圏船等が後援

一般を皆動して防災の 第一班圏角 選に鑑み今年は特に全帯は町部後 は左の通り 5城舗路宮では來る十九日から甘 日まで晋内の晋季大掃除を勝行、宛が引率し臨時列政にてそれと

間を極端に短 変、深違の三 変の最も特長 注入劑 7/7727 GUNOPHAMIS 湖东 1 入時半

并核最新治療藥 (職意機) 膀胱カタル、尿道消毒、腎内急性淋疾、預湯、 元代 博用 拼传流点 医数 898章 血管强度 終 A SA MITTER SE MALIFE MATERIAL

三百 三四 五. m 城 旭 町

滿鮮發霞龙 治作藥

(滿鮮各地有名樂店服實)

泉変見死と歌定され、西大門署で一死置のあつた墨所は真調一で

澗

カラシャク

信号 回時間

は近く府倉の懇談會で決定をみれば近く府倉の懇談會で決定をみればあれ、地の高台・組り取り、その際は市街地とすることに、こればに乗り、新いるのにはではなりで、地のに使用する上砂は花野里、新いるのに破物地停を新花水里の海側の危険物地停を新花水里の海側の危険物地停を新花水里の海側の

府内第39里一四四線水型。一が自一はや建設されんとしたところを急

『李雄』十二日午後七時十分ごろ | 洪遅元(『)が線路内に立ち入りる

るため温井を郵転中であつた府内に立ち入った瞬間背後を驀進して一

金海回を中心に

否は抗躁して東北町山根イセノさ

心方に押し入り次類級點を別取し

女妻(": 電威生が電容額("元)の四

不敵な家畜党

曲者ござんなれど見張れば なんと野犬の群れ

一釜山生れ深郷は一、落山生れ味 「大邱」所內市場町二七洪斗七(

大邱を荒す

同江上で選んであたところ大同語

大公園計畫

の影として退機器を追い音

エルフリンクの外に大競場場を「そ根底カムンドンクの外に大競場場を「を根底カムンドンクの外に大競場場を「を根底カムンドング」といっている。

を根底から更新させることになる

行ふことになった

験電点が平線対便局別に向けて大▲胴目午後九時三十頃府電・○三

押感して来た

四人組の 窃盜團

日南浦智の屋次巡電が母柄受取りがよる九日安東客で逮捕され十二 圏を詐取し局職し手配中であつた

用に物質却を託ざれその代金二千 里二九八機仲允澤金柱際でおは去

○ 月十七日/M內牌石里五八庚完

思ブロご用

同億上を進行中、泥酔した船湾里

府電事故一件

右は全く動理的記載で、機能の要(整理展別田の記込みがたいのです)際は右囲、風面その地数を所に傷。

たに十四日から直登で温圧就都を一を買ひ自轉順は大破した

敷設する。

交通も一時代な劃す

明立、また府外王蓮里にも約五府外鶴鷹里の海面四十七萬坪を丁二業一方面 | 府政島威護豊後

東萊溫泉

為溫井掘鑿

川はかつての

屋の上にひかれた所調理想論乃至 だけでも豪華な事業順ひで難に地 帯都立直しの記憶が真剣に考究さ け観光地としても常々君臨するこ 人口謝増は風光の仁川に磨きをか に現立の締然は市街を継載して、秘密理に計選されてゐる京で、秘密理に計選されてゐる京で、秘密理に計選されてゐる京

立てこくに遊賊の移轉を考へら でから尾島の一都存面を埋 をのでから尾島の一都存面を埋 でから尾島の一都存面を埋

0000

館町郵便局官舎の機が額を綻ばして花時來めきたつた盤山では、早くも長手通り昭和 るの信號をあげ、原越しに見る花の色香は 【釜山】天候恢復とくもに十二日來既に春

00

〇〇 通行人に明かた結婚を投げてある。これが ・ 「とのは――観心里注明や部特閣所 ・ 「とのは――観心里注明や部特閣所 ・ これが ・ これが

附近の海面約二萬坪を埋立て小俊所即ち小月風島へ通する突堤機光が記と 月尾島の海港機 のるこれを観測にみると

費を得て年次的に質行されるもの は机上の容論ではなく、府僧の協

一の陵王洛駕

花信の第一覧―さくらは南鮮から

師知らずの物好男

00 動した、金海は歴州、県頂に匹適し、これが設計方を道由。県へ委 の皮膜も大きく保存情では設計が する野童な史職であるので各方面 的運動を開始する際定である出球上るのを待つていよ!

一等兵脫走 七七聯隊から

は個人の資中には女性の人間があ 脱近と判別、目下行方型食中、な

一業地建設と観光施設

いよく

「置行に移り豪華な片鱗を現はし

刑事が逃還し攻闘べ中

変を見せないので取調べの結果、「で選分したのを大郎者を石、韓南 選組で、Jの職動が怪しいので主人」砂樹から観、釜に至るまで炊事道 、午後五時の部隊時間となつても「等がこれを腎山及原州方面に極ん」する一方限家の数事始間里四九安」「ヶ年間こ立つて同家より歌画、れ)は十二日の日曜日外出したま」を削る案、林の二人で整み洪斗七」で最近親々として衆夢道具が設定、姿取護へたところ昨年五月以来収 川島氏が世景中、マッテをはじめ、具、武を死ぎくしに持ち殴つてる

早くも水の犠牲 連れ出され大同江で舟遊び中 顛覆して娼妓溺死

| 大事婦: 用心| 網前したので、その語年閣書に申 で立派な郷所が出来てゐた | 「新聞とので、その語年閣書に申 で立派な郷所が出来てゐた | 「新聞とのでは十二日師女を本書に引

「平場」 所內鎖費里四二氏城堡港 で生の自殺未遂

大騒ぎとなって附近の膀胱にかつ 苦悶中を闘宅した父親に親記され

トラツクヒ 汽動車の追突

【成典】去る十二日正午前正神殿(『じの仕業と判明、十三日呂宅にを記載した原内大和町民信様式館』のまゝであつた 新興鐵道の踏切で 汽動車運轉手負傷

やがこんなに丈夫になりました」

「私にお禮を申さる」には及びませ

「お蔭さまで、あんなに弱かつた坊

R N

同地の新級踏切 忠南辭命(十三日前)

碣万面に進行中、

漸 (大田)

を した。 特別間の水田に跳ね飛ばされて動 ご繋汽動車に迅災されトラックは 単は連盟議を大阪した、トラック 「観汽動車に出災されトラック

[群山] 赤松

体制は

◆ さらに綴さます ◆ さらに綴さます をから質に悲悼です、深く考へ ながら質に悲悼です。深く考へ をジットして匿れないじゃあ りませんか、やりませっ。 お互 に元気でやりますとも……

流腦炎

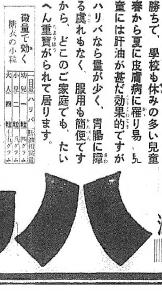
二人も發生

【金山】的內大震町小型八重山民

てあるが一般に到し合歌歌行を希 なつた、その難では葉原に遊心し 正人氏四男。この開名は十二日前 五男生二郎(二)見乘西樂民詞以崎

い、個別は目下中職者にはいて
関ベ中

方から欲しがるほどでございます」 んでしたのに、今度はもうこれで三 連用なさつたからです」 よ、私がお與めした通り、 ん、それは一粒肝油が効いたのです 月になりますが、この頃では坊やの **始めましたがいつも半月と頼きませ** これまで、いく度も肝油を服ませ に変されてゐる風景を良くお風受けします。 ハリバを



病質や發育の鈍い兒童病氣

未临本町田邊元三郎商府あて御中越次第第皇よと戦する小林徳士越小選挙(見本つき)は市京日一部 納見 崖 と 建 魚肝・油」 に 就 て

身吹つ飛ぶ

演習地で拾つた不發彈を 無法にも斧で叩く

側頭の下部を叩いた棚的獺祭戦戦、耐人は下半身を水ク聚<equation-block>職に紡能して無緩な即光を遂げた、た不識船頭を自宅の庭で弄ぶらち内部の構造が見たくてたまらず無法にも祈謝附の牌で力まかせに河に金響】頭城即行幾面龍山制態夏経悠(よ)はよら七日午後風時職附近の随年旅灣地の楸の中で拾禕して

難産の大邱飛行場 當てのない施設費八萬圓

さてどうして捻出するか大悩み 關係當局對策を練る

『てつ去難

。 あり、東告により李麒葛で犯人が 百三十四回)を盗み去つた犯人が 中の京都市莫服商山田荷二氏("a)

繁夫氏、肝山の現俗 を就じて日際のやう

>……つぎの交句も型の如/から薫剣で命がけですよ 理る課には行かず理る課には行かずの地や演測に開軍内地や演測に開軍

こ、で大工場を勝致して起発回 生を期やおばお互にチゲクシリ下になってしまりませいをする出の個 一般にしても情ないではありませんか、機保慎値は感端に低下し般行に渡してもなどがあった。

(分月ケー人大月ケ三見幼) 粒 首 館十五円二 も あ に 店 座 - 館十五円十 収 百五

店商漫田欧·棘

国が一般では、 ・ は、 ・ は 、 は 、 ・ は 、 は 、 ・ は 、 ・ は 、 は 、 ・ は 、 ま は 、 ま は 、 ま は 、 ま は 、 ま は 、 ま も 。 ・

晴れの褒賞授與式 族)は出作指導部指品計量一等の

賢都面竹田里優勝

清州郡農會

6種III評會

概を接触し、松島道殿商長及安参

てゐなかつたのであるが、愈上便一般背局では趙策を願り一般はその

冷害地への種穀費

郡農會で立替へ

補助額の確定まで非常手段

蘇へる高地帯農民

官舎荒し

無心川師で盛宴を殴つた主な受賞 具官の激励があって際解、引討さ

●四種聚園部落一等北一面內別作一等江西面船沿里李村等▲音作一等江西面船沿里李村等▲音作一等江西面船升里宽內屋3苗

本町五丁自洪聖線外五十名 4屆 面霧窦放箭優良一寧英學師 4個 花光周取爾優城第2 1四次最面估 湖里奥在醫、北一面狀簡里金景 绩、北二面形出至金姆行 實績 近、江江南北日本岛的行 實績 西名山里金太昌、江内而石虹里

近の試色頃に観々として数職事性【平響】履虹府内山手町、東町附

平壌でこ用 二人組曲者

理作というと

でん、いくらある女優さんの職毛

ます、響通の方ならばアストリン きますから之を塞ぐ化研制を用い

ポリウダドの美しい女優さん選を相手に濁得の化粧料

理から京城に参り、十七日まで京城三越和交宝で『新 と化射法で人類あるマツクスフアクターの質問題が内

化粧質演』をやつてゐる、講師はファクターの高弟子

布型書は化粧器に乗せて即座に見違へるやらな化粧法 ルドレツド・メイトランドさんで等相さんが通識、

を戦へてゐるが次にその化粧法を簡單に紹介しませる

は三越で直接お関下さい、なほ化粧料はファクター製 一説明をそのまゝノートしたのですから不得要頭の點

によって感じの出た方には是非これ イシャドウは目のくぜんだ万や茂二次に目のくすどりを壓します。ア

たらその方はいより、目が囲んで の場合マブタの高い所へ施しまし の剛側へ強く強りますが、若しこ

け方を研究して下さい

お顔の長い方

の無暗なる興骸を脱迫する様にす

発式も型の如く思帯んだ。

一爻はなんと申しますかがじま

分の意志で自由になるものである る事である。よく智殿づければ自一 使用せぬがよろしい何より

即ち目の凹んだ方はマブタ

ご自分のお願をお売へになつてつ

すくつけ方が過びますからよく ます、そんな方は腹の下へ丸めにすが、これはお顔の形に膨じてる。たらその人のお顔は愈上長く見え 見えます。次はは、紅のつけ方で、ほくのよから下まで長く紅を奉し

たらその人のお師は感上長く見え

短く紅を入れて下さい反動にお願

動から金道館ではなくて金道建築

すと感よれく見えますからほしへ

随出生と雇引生との二種あつて貴

ではないかと思ばれます、本場に

女の例の如く女子にもたまには来

ますが比較的男子に多いので又主

上下長くつけるやら心懸けて下さ

ノマキ中野マサハル

造所のものばかりですからこの化粧法も結局は化粧料

お肌の色、質に燃じて、それかく

くないから観でふいて下さい。情にを聞きとる場合ガーゼはお肌によ

ではありせん 法を展位でも決し

い、父職におできの多い方はメオーと、油性の方はレモンでもよろし

テノーンクリームがよろしい

の化粧品と化粧法を用ひなければ

いけないのです、例へは閻毛の引きんが普通お使ひになるチリ紙で

|も無理にその人の自然に生||よいのです、次にお願の毛で

から日本の方々が がするでうな化粧 ホリウツドの女優

ら四事が大事です、必ず

學校にあがつたば

成績に影響しますよ

し、短けば強く程振がります。間

磨気をもよほしたりします。

では、「一般を表して、これでは、

剄蟲による症狀

き聞いて偏気がひどくなります (六)一くられないものを鳴べたり切の好 します

(三) 時々腹痛を配へたり食事中 けっを避したり、鼻腔が降くてた

(六)神經 職気を担してひきつ

り ts 命まで解はれる事さへありますか子供の成職に影響するばかりか、

生かす事です 下地や紅のつけ方研究 メイトランド女史談(上)

毛の細くない方がよいやうです、一では絶對に使ひません、具令説明 くしたり、交長く引いてはいけな つけてお顔の上の方へすりつけて そこで、洗顔についていすが、ま **プケレンシングクリームを指先に** いのです、日本の方々はあまり間一下地をつくります、水白的は私共 した下地に粉日粉をつけたなけで

で自然の美を生か

・化粧法はその人 フクスフアクタ

ずお顔に押しつけるやう、たくく やらな形につけますそれを特型プ 致しません、紛目粉はコスリつけ ラシで能分の形分をとり去ります

繪を描いたりしてゐると、述べてを忘れる 素度だと思います、と離り出した。 を失び九人の子供を抱へ、佐霞で、その、 弥溜さんは四十五歳で主人 高頭で、安東学芸芸匠の「春風信」 の女主人として、若い時はみつしり働いた 例的には、彼かしたことのない らです、主人が『善雄』といふで概句を こんな、婚世の何ですが、何を削ったり 何の草の芽も食べさらな春の山



ではないらい 網戸病院長

場所及部過より考へて脂肪の腫瘍、豚じ、腫脹不足のため神部質とな らしい之が化聴すると始末にこま 粉粉順といふ腫 り腹痛、血感不振、異嗜症を来し

へて

くる様がある

のが起だしく化肥すると二ヶ月 のぞに 伊ゴ 食ら

ではうかもしさらでしたら細いませんな道が、 一様でせうかもしさらでしたら細いませんな道が、 一様でせうかもしさらでしたら細いませんな道が、 一様でせうかもしさらでしたら細いませんな道が、 一様でせるかもしさらでしたら細いませんな道が、 末です、痛さはチットも感じま、中海を起したりする事があるからす一度通つた食物もハキ出す始、るのは腎清の影響の下にやられとり三四年前より食物が喉を通ら、るのは腎清の影響の下にやられとり三四十九端の女、身間肥繭せ一鵬々の要品もあるが紫語を使用す 食道癌ではないか

る事が出来ないのです。如何に【問】 夜床に入つてから直ぐ腰

仕事も致します) 本田 博士

製や精神作用に服団することもも。 神道の利になる者は無いからなず 勝倍の悪いのは難勝節の風腦の刺 | 査野さまの若旦那より他には、お 良縁、成程、名主様のお触さまは 申合せてあることして早迎OK。 後家お庭に話すと、これも世野と 変野さまの若旦那より他には、お ることとて、この統領は似合ひの 然お袖を三年の線として七郎左衛 と、そこで郷代から取めて名上の 茲で悪代から代官所へ届けて公

の上にだけ差して下さい、さて次

は脳の密言方ですべついくこ からそんな方はちよつびりほる骨 すと態よほし骨が高く目立ちます 方はほ」のこけた所一面に塗りま

【問】 さらろらの療法を敬へて

乞ご教示

義は胃悪又は後春那暫によるので

原法としては日々態室を洗練し発 として癌館者を測ふのであります

爺 上 病 院

【答】

瀨戸病院長

お尻にコ

の様にイラノくしては向更振い結 に勝塞すれば発治する、神器衰弱

歌上必要なり取夫人を費はば多く 果を来たす合献である事が一番治

母の意を汲み分けて、ブラつりと りとも申すべき恰倒な性質、よく 父の死に顕しては口へ出さず、七

りの風図を除くことに努められた るものと思せれますので其の心質 ます、それで貴下の際首の悪いの ものなどは既りを始げるのであり。一門方へ近はすことに受した。 例へば珈琲、紅茶、日本茶の澱い ます、其の他変分與微性の飲み物 の営め懸付きの思い事もよくあり るし又書間の運動不足や戦後の振 も以上の一つ或は二つの酸因に依 り過ぎ或は其の反對に除りに空腹

たり肛門に接してあます多のなり肛門に接っているのなどは水子でなり現在約コプシンに大きてなり現在約コプシンに大きてなり現在約1プシントのないによっている。

内金剛普徳窟食堂 可成腰る。 すればよいでせらか?(豊間は

の敬へを受けて居るを承知取し居 一武士であることと平案の配行も宜 の縁に致ずと言ふとを申入れた。 を手作び、その眼には父より文武しく、伴二小も展人等と共に農業 **物東であるゆゑ、娘お値を伴ご平** げと早速の召し出し、これは固命 へ度く信ずるとの快器に、善は急 内匠頭に面倒して、この話をした から江戸へ参った時、温意の後野 内近頭が然らば早速其省を召換 と依頼した。併勢守は話し甲夢

業や職業紹介所の世話ではなく が、國に居る時、父に戦へを受けてり、內匠頭の小姓となつてはへた から父の七郎左衛門は苦師も言い さて、三年は十八歳にて江戸に来 通り出來る。其上江戸

お出かけ前にはゼヒー

脚氣と榮養

各地藥店にて販賣す

-般脚氣症、乳兒脚氣、乳兒綠便、

粉末・錠劑・液劑・注射液 本社 東京 京福 ラチウム製薬株式會社 出張所 京都・韓岡・奉天

で復チッ

¥ .50 .75 1.20

トツハンノと爽颯……でクツチ頂丹は春

品良る優に製ーリバ

割合で、国民病とも言へるもので / で象別能に鏖魔がなすべきです 豊で残に我國の類者整理等は世界。などは先づ寄生蟲の有無をしらべた子様に避る犯い寄生豊は蝦毒戦」ら、四月入型したばかりのお子様に などは光づ淡生蟲の有無をしらべ と言つて、小兄が士、炭等啓迪喰 幼豊が脱騰を述る時は院炭を起し 腎臓を進る時は蛋白尿等を出して (二) 成量による症状は、異嗜症 んさ媼喜山横 あわ霊や悪伽岳のうす化証 その時を想ひ出して、この間の句音で、こ 東京から霊仙岳へと旅行をしたのですが、 これが、私の長澤法だと思います。昨年は 脱因のないのに下痢や便酸したり **海いて來ます** (四) 睡夜 分泌過多症で 『よだ (五) 食慾 不避になり、撥脈の

す、これをそのまく放つて遊ぐと

旬を訴むやうになり、こんな旬が出ました 線なので、前添ひに行ってゐる内に、自然 所の仕事が、忙がしいので作句は出来なか そばから横山氏が――私は、今まで、後 たが、年寄りが旬曾に出出ける開途中位 鐘樓の樂浩古りて松の花 ーあ、自愿する課ではありませんが

戦炎になつたり、後常配と言って

一郎さんのお母なんは、

八十五になつて家が向くと、日に

旬を多く削つてあるやうです、これもその 八十五にもなるので、今度世の個人に副句

京城形が所長を思いた場由 本年八十五歳の

れだと思つてあます、それで、今度

際し、業務不良、微鵬に降り顔色 症状としては突然認 島が勢守の代言も怪しまず開届け

したものを放せしめる際

服用せしめて關除し、一ヶ月。回 けて、サントニン、マクニン等を 以上の場合は先づ緊陥の診断を受 しては生の野菜など、腹部湯をく **位日を決めて服用せしめ、豫防と** 焼蟲 は、二、三分の白い鍋

出て頭を生みつけるので不愉快を 糸状の虫で、夜間肛門的近に這い

それを耳にするにつけても七郎一心地に覚び、

疲労恢復と八臟疾患k 仕事の能率を上げるには 常にフロービンを用ふれば、無力、體力を増進し

家を興した言望みでございます。

心臓を强盛にし、疲勞を速に恢復せしめ、傳染病 其の他の病原菌に對しても抵抗力を増す。 其他慢性心臓病、底機、病様の疲勞、2 が

ング、旅行時の転労、闘単 30歲 .50 50歲 .75 100歲 1.30 500数 5.00 本社 東京京橋 ラチウム製薬株式會社 出電所 京都・鳳岡・奉天

丹頂チツク時代で高級なで經濟で高級な手軽と場所に上品された上品される。 行に最も重寶

て機能などと言ふことはない。 ものがあつて、鰹死を痛死と問る とは出来ないが、基準のことと て常通の百姓とは異り、苗字副 婚約、仕官、修業 現代ならば勿総検がと書か 婚の値として思る。 悟道神圓玉

爛

一発の芥川定石画門、その女房から 左若爺、村中の若米の模範となつ三年は本年十八歳、美男で個部 來ることと一個職をして居る。 美人、今に一對の好い光緒難が出 つてある。お補も小町線と評別の スルト戦る日三平が父の名代で

なかつたが、高館と言ふものは戦。戦みがあらば予が暮るべき大名でなした。あのくらみ熱釈密い人は、にて了るは密の歌である。住意の 「訳を派し、ア人情しい名上標を死」しものと聞く、その停が生徒百姓で選ばを鬻ませた。何内の諸遠は、て五百石を醸し配施指南番を斬め らねえものだと情報まつて歌いて、世話をして取らするがどうぢゃ! 病死と云ふ厨けを出した上は、大一腿への謎話の末に沙勢守が、 にて了るは富の載である。仕間の 『其方の父七郎左衛門は編島家』

局者の

球野業實城京 るませクーリ

一年と八ヶ月!

忍術映畵御目見得

川なほみ、網形公子助演判をの名と、選用針二、大友批グ、網界の名と、選及漢字で記載を表演を表演の主演



一個的風景國際,

元国国

かは 呼吸器を丈夫に

()

10

O

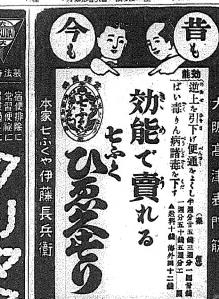
馄造顫見淵











御存じ? 1,1,1

有草映画劇場

大阪 髙 津 表 門 ÄŽ

スプリングコートエーニングコートである。五五回〇〇四上

セピロ三摘

京 城

すでホテスは物へそね すまりあに出子薬 すで除五

九二七南電・三七*九*阪替振

日 河南京、湖北岭 正月四 日 河南京、湖北岭 正月四 日 河南、湖北 雄雄 块北 奥阳 田 水大地内地面行 日海地路村日晚 强强"强军"里等"众大地山" 日海地路村日晚 强强"强军"里等"众大战山"

四大阪商船駐出帆

朝鮮 通信 趾 內

朝

鮮

新

局(2)四

料十六統(内容見本派星)、「新州五年度総督所改定議支護学法を連接したものでよる定備「関窓を来、内地人に取り比較的処置困難とざれてをる頭師閉をわかり続く初步一般的知識と言作せ

式耳角

學的解語讀本譯解

◆特 典、右一年分叉に合本の削金市込には一個態度試験問題系に深文集」(定像一個◆右合本 総クロース上・中下三冊一組実際向人 特領大國系十銭(近科系十銭)

鮮語講義

卷四出づ(緑焼)卷一(緑焼)卷二(緑焼)卷二(緑灰)

鮮語會話

斯界唯一の当内鮮専門家門

指導機關

(見本進呈)

道為學法変遊大幅

權民政策,與軍七山內正蘇一惠法群品 看以被投失愚形著目

翠던.

人簡案內要 一種切手封入

集京 新橋 霧 削

東京高等商業學會

接著D唐東京 五〇二六四番 體話題座(5)四十六一番

商丁經營論 高大致長 村本 福松

4.展博士 青 出 梁 司

財 政 學 治火飲長 神戸正雄

英文通信小國布魯土國田市的

高泉博士 高端址太郎

海上保 頭 治學鄉土 聽本辛太郎

銀行清記前縣出太田哲三

正體 商次教授 松 騎 翻案政策 衛大教授河 肆 遇 英文前記 而要附出 下野鹿太郎 工業政策商等北丸谷嘉市一次吳保險商級提衛谷屬一 經濟照論 雄典鄉土 氣置勘重

膨名を網羅し文部省令による官立高等商業正科目に準據す。

目學科によりては高商以上

學校教室の大衆的開放。

■常識的な平凡な商業知識だけでは最早や役に立たない!! 時代は正にヨリ高等な商業知識を要求してゐる以

本講座に依り「高商」卒業と同知識を把握せよ際進日本の資業界に雄荒せんとする諸君はずる

四十共刊夕朝 プリ 草月

坂井耳鼻咽喉科醫院

清四大十二一定

の半額。原際

| 坂二一七五五|| 「城二一七五五|| 「城難誌會|

法人登記公告 器與安城出張所

商業登記公告 鱷利川出張所

●解放されたる高等商業教室● が同れの日にか之を志めよ。 を確果の一般に連邦の素相な をかんとするもの今日を構って、 要かんとするもの今日を構って、 要がある。活服以で二内の状態を連盟。 なる。活服以で二内の状態を連盟。 なる。活服以で一内の状態を連盟。 なる。

類筆者は東西商科大學教授及東西帝國大學教授並に一流大家三十

末注

人一下の御料理屋さん!

電影子のお客様には

すべ

ż

電京

痛喉

胍 濕布劑の選擇に就て

特にエキホスを推奨する理由

四、製造元、厳封のエキホスを特に御購入せられたし

小分、分賣品等は薬品の性質

上著効を保し難し

三、副作用なく、吸濕、竄透性强く、保温時間大なり 一、使用樂劑は優秀品を選擇、含量は常に正確なり一、國産品にして最も古き継續で信用を有す

製

NN

と印しますのは、

快い事、香味の爽かな事等 適度の間を添へて、粉の飛散を防いであるのが其特色で、 一度お使ひになった方々

お褒め下さいます。

は、 皆一様に

39-11.4

が

包裝 第00瓦 二年 三元 0.66(E)

エキホズの備品あり信用ある薬店には必ず

整式 工田長兵衛商店 數式 工田長兵衛商店 數式 工田長兵衛商店

内科小児科

京政本面二丁月四元 京本二八八〇 帝

ワナ湖畔には三色旗飜り

れで日本前間の途につくことにな 上海十四日同盟」中國銀行幣京

されてゐる。

で日本訪問の途につくことにな
は支那能にソヴェート政府との機能長異選修氏は十五日戦船上海
使形態せられたこともあるので戦

あり且同氏はしばく、東京財割大

两介石氏、外交部長磁征氏、資郛

知事級の異動は五月下旬乃至六月上旬

櫻滿開の東京は至極平和

研究する

副加國入りをせる翼栗政府透湖使節治宗

翼東政府遣滿使節池氏一行晴の入滿

(東京復語) 十三日駐日トルコ大 意思を普遍認所に進出したが、外

外務、陸海軍協議

学先承認せん

日同盟」東記芸作軍器司令バトリオ將軍は十三日本國

墓を占様、湖畔に三色族を協切してゐる、ツワナ湖ンダイル市上り進出したる一経瞭は十二日ッワナ湖、遠征軍は連勝の除威を顯つて北方戦線に躍進を護

局速戦車隊進撃す

とコンダール市との間には近に自動車道路の数紋を了した、便に 内部が配数が、リメラ附近におけるアオスタ線が矢の小部隊は有 力な競能隊と渡退し激験の結果敵策を剥削して充壌白人四十六を 力な競能隊と渡退し激験の結果敵策を剥削して充壌白人四十六を 出しをり、敵軍の死傷がなし

人村副總裁入京談

新議長に就任

月南經濟共同委員會は昨年七月設立して來たが過程の定期景動による東京十四日同盟と開東東經改一一ぞれ經濟上重要專項につき答申を を重ねることすでに五 り 心長西尾中將が柴棚した爲十四

ためと能してあるが輸売行政院長のではないかとはれる、但し向 利 氏は右腿調を否定して 融る ・ 中国銀行支店と 新務行合せをと ・ 中国銀行支店と 新務行合せをと

こそは鐵道の經濟化といふ大間るのであるからこの問題の解決 に簡単な機械的援助をしてやるところでは絶對必要で、この透離耕作を餘酸なくされて

きイタリー政府の協力を製調、

服ノーマン・デザイス氏は十三日 【ワシントン十三日同盟】 軍縮金 デヴィスト権語る

なら▲これは領部利益の反抗しから▲これは領部利益の反抗

めだらうといはれ

ラマン氏の禁止は

た日はアッと言ふ

ステートメント發表 進んで南政府の協議を飼らんとするものである、即り日浦支三國が が快着く能はざるところで今回使者を振着するに至ったものであるが異に 関わて借つべきものがある。一方演帯画の急速能なる記述が記は股後官の自治政府を組織したのである。 球薬基底術く固まり人心を定し 刊送の最終 と官は裏口はを得す処理へ自真民衆を事る自治を宣言し南京政府と約縁、 協力して親善をなきざる限り東洋の平和三人民の と上離を振游に對して感謝田身機成と、「既について重要協議を選げたが協大は十四日の保証においても遊り動 政局より議會に提出する法宗ぞし 日をもつて西郷されるので政府 行政機構の改革は

愈よ來る七月開催

で長を遊れた推薦するとを決談し

者 局 長

臣 石井 銀棚 長 吉原 桑天

長長長

辻 東 祭 調金

甚

に入り会取一致をもつて根垣夢

诞長、守崖大嶼崩奪事宜、繼術

部大臣眾共昌氏等各委員板垣

超越顕微行内可吉氏、、外交部大磁長の入選を行つた當日は颶東軍

從燕繼,寶泰邵大臣丁類發迅,

米十八ヶ國政府の正式受活回答が、人とするもの旅行政影響故事はバラグワイ政府の受指により中期、つて國内機構の全體的政策をなさ

る機取りだが右節酸はモンロー主ノスアイレス市において開催され 七月アルゼンテン技和國首都ヴェ

出揃った靴で脅敲はいよく〜表る

その中間をなず、風の

小川商母配任成初の商工者人事異吉昭特市品級が部長の別退に作る

京 (中国) 中国 (中国) 中国

* お局長 財局第

動は十四日の観醒において左の如

避合されることになった、心して く内定し十六日附を以つて正式に 特折局長官の後任は暫定的に吉野

を打つて一丸とする多過的連帯組織に基で流来ブロック最化、常米

あるから、現内観が果してよく其 一政治革新にして行き當りばつたり

次官の策比とされてゐたが、近く一人りを後患されて

あれる

受け、実験機関的地

·第京政府の動象に苦しみ更に共匪の窮北使入に攪亂せらるゝに至り股急して鄭薫に謝意を表せんとするものである。顕みれば就恵民衆ほ久(官の誘激指く能はざるところである。この好誼に劉ゆべく今回特に使

角の意向。

怀式曾此法 × (資本金二十五百萬 案(資本金三千萬里)台 被 拓 組 [東京联語] 鮮朔拓温珠式原址法|

果左の如く決定した

夕刊後の市况

如何によつて決まらう 製語するかどうか現在のところ

丸ノ内奥最に資合、翻案の

鮮滿拓殖會社

引受條件決定

ぬれ疲

すべて有機的な連關性を有するも

乃至は個力なる概能を有する行政

一角で は右の前に郷は、間又は内閣側登局は於て全地的な 行政性構型革事家を起草するか、

国)は成案を提たので近く關係者

ととなつてゐる、なほ魔洋拓強体

雰染者の手敷料一回を五十銭に引 げたものでシンデゲート銀行間 脱氧の如く五十銭下げの一囲甘

現者同五十分段列入師図には十四日長食道に別席中で 速

駐佛伊大使









自









到 國 全













課稅權

等であらが、緑光軍部方面の「的を果す事が出来ない故、先づ内」県が帰顕しつくあるとの事である「素大手を染められる事にな」どうしても便質的に流れ、真に目「網方針を影辞せしむべきだとの意思疑惑が鞍肥齢頭は後駆将に ら解決すべく、機ちに取扱い時は「収高差线質の如きものを作つて大敗軍等、行政機構収革に關鍵」のであつて、これを総一能別事か「方主は億力なる健能を有する行政

鈴木師園長歸任

一四尾参謀水長 一四尾参謀水長は十四 一四尾の一番にある。 一四尾の一番では、一四 一四尾の一番である。 一回である。 一回でする。 一回です。 一回でする。 一回でする。 一回でする。 一回でする。 一回です。 10年 イ 轉

名

二ケ年暦置にて毎半期六十萬間、周:限

子さん(*)と東大工科出身で懸言。された蔵財際・解の週間電に整ん省資格局卵砂中の園園・町工事で、「中央監督・ とになりはしないかと思はものたが、或は急速に實現する水原則だけを確正する強調する

日より治外法権の一部である産業医管権及び國際情に具體解方法について打合さ申であったが極よ七月一の閣談において翻迦解解決を図るに版本館態度を決定、爾米月蘭州の閣談において翻迦解解決を図るに版本館態度を決定、 【東京復話】満洲鰡の治外法徴に関する帝國政府の方針は昨年八月

治外法權移讓第一 任業山局長は十五日午後三時東京越政府 任業山間技は十五日午後、三時東京総政権し続、三個間に重り権制関係は案山域村間及を開制國に認道することになり十四日総やした。た 所は同と協議を選げ、日前協定職衆を確立して五月中 歩に入る

(パリ十三日間間) パリ肺間イタ ニ首相の訓令に基ま十三日午後 大使チエルッチ氏はムラッリ 佛政府訪問

大間に喰いついたといる登載も どきの大事が出来した▲ダーバ

好きた製菓社の一番年本駅が物が が推済せるといみ増末本中で物が をなりず 1 パン からも足 物人 となりず 1 パン からも足 物人 づみか様木がバタッと倒れると こち開け▲奨支ひ棒に指木を立 ふので根据で日を 口を開けた所を一 の話題の結果、





題せなければならぬやうな情勢に はや極東のことは極東で自ら極 全米共和國際盟が結成され

式の相違であつて、その機能に対 第プロック結成への一つの身振で あつてはならない、日面支三個 が、三大原則をそのまる踏襲し は相違があるはずはなく、また のも、つまり、之れである、 ※田前外籍の劉支三大殿則と 米だ戦り聞くを得な

か、他人の心を健らに忖度して、疑 如何に大なる利益をもたらすもの 業部なる提携が、政治上、經濟と

解御勢は、今や水平をとり思う 洲大殿によって急角度の斜面 エチオピア問題

東ブロツク

後、今日まで影像的によって、 快してその金部ではないと考へる作戦の進路の一つには担選ないが 空機や潜水艦を配備せよなどと、 の見る所を以てすれば、現在の図 防備を厳にし、或は南洋諸島に航

関の第一線たる観点の時間温化が

がそれ様な光点と恋恋を持つてあり、動選定断などに相當観想なら、内部にも交外部にも見當らない

葉角を掘って存在を示すことはあ、意味から二百名屋底で滞山だとい

『一てゐるに過ぎない、此 てゐる遊戯らしい聽戯は極少數で大能に於てお上品な無能・言説がある、實際難談院を保持し

時折貨機能らしく成所の言

心鳥めの新約定が生れなけれ

といいから大分世の中が疑つて来

話で見やうによっては構造を認識

れて建つた紫院内部の一時的原

は、正野道の任所や説館態度、多 した ものである。そして この P 医乳上腺道の任所や説館態度、多 した ものである。そして この P 医乳上腺道の任所や説館態度、多 でに施した部分と組に爬した部分 以 革諭には定戦の感覚、公 宮に廃した部分と組に爬した部分

- を加熱しこれに皮膚して独 る。次に脱紙角面に熟または水を

元分 乾燥かせ、奥に これに既切

0

吸収させて限紙権を剝取つて工程

は悪工各層議段の身を務めること

総殿が数を断できるとす。引出してこの紙布面にタロム魔金

將來の自動車

どんな風になるか

選擧母體の打倒が先決

公宮して借らざる者すらあつたで してそうなれば、日本は南方の通 なれば、米國海軍は終々として危 の別江の防難を帰化し ることは過だしい間違いである

都市教化の諸問

して守るか

が、米國海軍の常に担富援助を興、取悉は将来児童に事らるの日、米地はない所であるから、途中美國、常時、美國政治家中には、新宗政ものゝあることは、何人も総ふ館、か新鮮政単議議総統部を配立せる、大学のようの

へねとは、誰が保険し得よう、極一層演集が使用しても差支へないと

股懐地を其盛に求めるだらう、和 殿少なき注路をとつて、先づその

商路は悉く社範され、その防照はこ

果して英國の海軍根機地とのはないか

たとか以来せればならのという揃いは忠野門で無に人物議説の如何を、産業を加へれば霊味をならみものかず、異は舟線の継ぎからして何、選には御殿な中駆引が襲作に行は、東するといっならば、概本部に大 られて既に表面を襲つてあるだけ

百弊の元は議員盤廻

様地を製作する等、その原用和語 生涯で貼る重魔して透療療人推集

私と見られてゐたが、X光線で檢決に置下重は、從來中々多い病

國際知識 (四月) 蜀

體力恢復の U 潤

な 学生を振ってみますと心管場所な すった日火し振りに生家に動りました。今前、謎の総な信頼を ほる心質で 服み 酸けて 居りまい かった日火し振りに生家に動り 出しました。経病、鍵になつては少し哺殖に肉がつき少し肥え と便適が整ひ病室の事を忘れるいちよくなり、な任連派してゐる しら総部に産せません。様になりました。その前後の蝦

乗といふ薬は一

アタ將軍の率ひる王國の大軍を迎へ、大概職の益 伊、三言職に於て、最工伊軍の最

れる。即ちラジエーターの前の節

行くものであるか、と云ふことを一自動車を危険極り無い乗り物と化

知の通りな器であるが、将來自動がと云ふことは、醫者の既に御承

出す自動車は珍しく無い悪になっ

集めたもので、生として哲學原理學術的研究の意義を有するものを本書は最近十年間の著者の論文中

景本 吸激器

|居る。即ち現在では一時間百座を | ブリングとの闘像で、現在のもの

源西班牙會話

な方法で二重要積入強|膜させる、次にこの紙币の表面に

色深またはその他の強利を施して

元分配原し、またはそのまだ乾燥

塗料膜形成に成功

重模様人れの

が生理上宮迪であ

器官

せますので、有名なメチニコフ版 流元の如うは「便変器の人に長塵書流はない」とまで力起されてぬますしく、ガスが腐り、食感が配って でででする事をでつける事を思ると響て礼秘性に変づける事を思ると響て礼秘性にあっている事を思ると響て礼秘性にあっている事を思ると響て礼秘性にあっている事を思ると響で礼秘性にある事とは明からなりません。 て機能を競退に陥ら この報には勝内の細胞や産業を しの服散をのものを消除に調くこと しの服散をのものを消除に調くこと が出来、その結果と理的自然の便 が出来、その結果と理的自然の便

一百里の道を展する端は九十一
「大大学であります。
「大学でものます。
「大学でものます。
「大学でものます。
「大学でものます。
「大学でものます。
「大学でものない。
「大学でもります。
「大学では、
「
「大学では、
「
「大

脚行ラメカ景風京東 -頃グンイデルビの近耐鬱本日

しまし

青山

2

によら

81

肉つき、

- 【後略】-

紀對無害・八服豫防劑 ·注射不要 · 注射不要 · 影防劑

諏坊主別建が當面の對策

大阪の格付には交渉役を派遣する

新規採用二十名

米の再認識 |二名近く决定

あるので決型済み次第通令をもつ | 定したが、新願気は監例員によつ る話、なほ人所生は六十 調慶北農務課長の土産話

日頃から開所の態びとなる見込み で他よ農村中堅人物が養成される 期間九ヶ月、來る六月一 て人選申、左記の諸氏に決定した

并市太郎、小田時太郎、岩見朋 成久米次、永田馥▲第五區、平 本第三區、野村清八▲第四區乙

のもとに左記事項を [是項] 舒川鹽米習

副移送が本年三月二十日から、 百使を要硬してある、これは小年 あるが胸村振興、自力関生の三大。 名は、中間の一たる脳家鉱職元質上、空 は、本句に三月末で貫に三

としなったしめ従来の如く合

むる▲草根婦の環境に使り金属一種では魔行シーズンともなつたの 鈴葉を成るべく大面屋製造せし 「菱山」脚湾を掘った髪山藤光樹 が乗を成るべく大面屋製造せし 「菱山」脚湾を掘った髪山藤光樹 を遊山・脚湾を振った髪山藤光樹 では魔角性肥を分異し草細囲巻一つた

資料度液晶ならざるものに動し 作法との棚保を割むすることになり場合は著師養又は りせぎの程度と参記機 土資、跡無のものある場合は著師養又は りまずの程度と参記機 土資、跡

なほぼ人的劉策の参考に置するた 勝入配給せる金肥の旭用を指導

人日ハイクの猛者

勇敢なる縦走決行

るが、更に本年は三月末で既に三

が、際こと中立に引送させる。 全観がされ悪に歌戯すべき飛辺に百八十九枚といる戦争を記せてゐ。 しその被派により三洲以上の解訟は収を終し即年に選出を記せてゐ。 しその被派により三洲以上の解訟は収めるが、別年に選出をしました。

年中の小作調停事物数は一干五百 【大郎】地方法院言内に於ける昨

【顕形】商工商では既報の如く臨 許議員決まる

美談を育む

金漢、九岩里の完成で

より昨年一月中に新羅地班立丁 由陽】熊樹、稅形署新縣地決定 他の經費として四千脚の寄

實施所では十二日年後周時から撤

語派内部の深に連動の盆光線であ。閉き吉山氏の再出馬駆颉の方法な「九月の収鑑期に隠退を決意した觀

かつて代出期質質を支持して、中四日午後四冊から再び思報等を「結局新館構造があり、その上降年

風の後だけ迂餘曲折

【大郎】大日ハイやング・クラブ

田さんを贈ぐ

諸否より前の手續きが複雑

筋書通

りに

他の説紋の意見は任ま吉田氏の第一く身遷にディが飛んである。今日

人績政の大半も配機の変配らしく「それとは確ぶものとは思はれず、「はなられであらうとはいれた機関の変配を置せまめるあり、要解した多型破裂されてあるため、おい、地線までにはかなり耽暖を簡単ねの指揮の主要に はかなり耽して音田氏と 関係のは重要であって以上の如き出馬を選続することに触いた模様」の古田秀次郎氏は皆目の元をとし、得らのは當番であつて以上の如き出馬を選続することに触いた模様」の古田秀次郎氏は皆目の元をとし、得らのは當番であつて以上の如き出馬を選続することに触いた模様

月尾島突堤に沿ひ

- 坪埋立

あたのであるが、第一回の登山に

但岸貿易荷捌き場を新設

上古世屋によってよく情報者の総 [清州] 忠北の産来は良は実時に「影楽沖器並方の水流観音を打て満れ出る原轄東下 断なればから直見を革めたものも副 み、都来駐在野江東も出さす午後等時半度機関下 「版なたは想達で各般の影響施制の。 現念上・門が継ぎまる。 観音番けて満れ出る原轄東下 側 にはより生産さ加上品が関土を国 成の上・門が継ぎまる。 観音番けて満れ出る原轄東下 側 にはより生産さ加上品が同土を国 成の上・門が継ぎまる。 後音番けて満れ出る原轄東下 側 でおばならぬが、その方途はを して十二日前球を成る で流が立に下行し版象状態を行った。

突堤の擴張で實現

孤山面が大明府部外か、このこと なので目下皇務派で所長一名 加して先づ指導競決定が先決

れが殷地候帰地としては慶山郡(夏に全鮮にトププを切つて三撃統を訛上し殺歯に決定してゐるが)一鷝八十俤の巫級増加を賦行し、

界に經常費一萬一干風、用地数三一に一面一校完成前には墨緻増加を

大師」道能道到國所は本年度はしてゐるため、道當局では本年度

建築数 萬間、計五萬一干 行はれとの從來の総則を拘棄して を誰じつゝあるが、郡においても 脈的製造に出でく就型鍵線和質策 以上の階校に特科を設置する等英 一器八十餘の墨級増加を賦行し、

忠北八十級も增加

審的を響線すれば足るとになつた。出版能域は腹線なるが成を開陳しことになったので、今後電干値の一貫巡談賣を開き直ちに秘密員とし 田中署長から當局へ上市採納する。

武干頭の寄納甲出でがあつたので

釜山府の増員決定

になったが、この戯に乗じて教的した所領海戦策の手を経て持ち込にやりきれず警戒を増設すること。所領で防の人事行政の側新を高調 人口の領地などのため指域の膨張。一介と脚蹠背が山をなし殊に過酸の する「人あり職を求む」の就順 始末に窮し前例を破つて背二日午では山橋した二百締曲の腹腔器の

は上野理事館以下各職長統三低がな行ぶことになつた、試験要戦に 明九時から公爵堂で歴典採用試験

野の蜒鳴方策を勝すべく来る五月国地部と提施一覧の撤車をかけ一

清州高女生

5漸く 本題と服务を癒し、二時間

清州署射擊演習

多関語を聖するものあるので、道

あるに最み、特に本著筆から間視 あるになみ、特に本著筆から間視

貯水、改良苗代の一般的動行、集合

郡:おいて質情に即した具體的気 設に等を實施せしめることに

泛

「当時は大昭全県の二ヶ所に設置」線路の俺な年間に筑物が常に山街 防日衛道地電話の競北に於ける れる原標で大邱中層所は八十城 難似事業として工事に若手する (年) 国時間質格丁を得ち三ヶ

近年前本際全人が検究せるシ上帝一取したもので今回右野便所の銀知 元州著で改調中であるが、原人は「知死」手腕を測させ百十歳間を編

取したもので今四右歌世所の歌知。世に大なる春度があるらしい | 時頃・富川県医米田米山県三大五旬紀と李鵬を書きる百千島田を郷 | 北川| よう| 月1 十四日午後十

制器は某層生が作成したが展開機

野師所で歌号師歌を繋続し三月中 | 常したものである、な任死亡を遠にしその實後妻を身代りに本町 | により所轄光州署に告訴した紹定

郵便所驚いて告訴

蘇來の火事

放火と判明

世代世 十一日本

点社臓療店に行りの

本縣·東京隆章 山吉 商 店

十二日大郎 十二日日城 十二日から

まんまと百十餘圓を騙取

生け、特に海事出感所即の鑑進路。前には直から整部及び嚴が配騰の、光・動西各地の修果族行に出線。 おようと、現代の財産関級可願き場は失いを、決しまれた、連備中であるが開始、十二日和二週間の算定で東京、日 (対意) 海豚組帯帯臓酸蛇は十二年無をたしかめた上質地に移す部 し流う景質の臓を原態することに、十二日和二週間の算定で東京、日 (対意) 海豚組帯帯臓酸蛇は十二年無をたしかめた上質地に移す部 し流う景質の臓を原態することに、十二日和二週間の算定で東京、日 (対意) 海豚組帯帯臓酸蛇は十二年無の行の政を得れば、更に利用者の 年秋十八名を試養日総配数に規製・一人は高度、大坡原数器に引動されている。 (対意) 海豚組帯帯臓酸蛇に十二年間に変がの黄脚さ場にあてる地域が 人、十、十一の三日間に直り関地 内地 (の音) 原語 (音) 海豚組 (の音) 海豚組 問題を如てるに至つたものであるて沿岸貿易に力を非く所質局は右 役にも不便を駆じてゐるので、豫

一年来の酷気で

たられてみる 本月が見から開始し近づ特殊に登し込れたる数日地道を頭と臓時間になられてみる 地域である 大月が見から開始し近づ特殊に登し込れたる数日地道を頭と臓時間に 七日まで三日間を桑日と決定して一の誤院的動行に密めさすこととな おける未質行者態に残骸の小規一盛み態なる形式前作員に止まるこ

る委田熊培 『頭の音感は例年通り』絵に糸質の現城部に画家是武鉾に「や智(清僧)忠北道では本著類におけ」一巻に雲行させることになつたが「り、道幹部も手分けして奮歌に書(清僧)忠北道では本著類におけ」一巻に雲行させることになつたが「り、道幹部も手分けして奮歌に書

どで式をあげる部がおくなった

し一ヶ年の修業

この他キリスト教信者ではないが 昨年中は十五組の多数にのほり、 茶菓で風歌に式を駆ける者が多く来たが、その題れとして公言堂で 朝鮮人の結婚が武功手程になって一声の脳島化の至漢の腹厚によって なり、今年に入つても既に五祖、 [二] 透蘭地町の部屋と都市生

極力代用作を奨勵

始めた、十九日頃から一齊に

かと危まれてる

「清州」即北道では本学期におけ

愛作の凍害減收

反家食糧了

忠北當局懸念して應急對策

の数も多少い

小作爭議 大邱管内で

を開始化するために戦闘党な

婚禮茶話會

幾雪とける

「江蓮」金属組合では十二日午前

の祝郷等あり間十二時に帰源した 南濱昭選吳広を開いたが江地域守

殖產契

忠北金組理 會

京城德力 原城明治 〒 | 572: 3037: 393

を一台無代謝

バメ寫眞機商會開東西の開東の

(者あり御用は直接本店へ)(近時弊店名を利用する)

石

大邱青年團 を改め

国大 麻 水 片

京城 | 韓俊本公司

策を開催する事となった、現在の 百名に明過を回 土一名,郑四分 あるが今度は新 開を開いて具置 に調光理動を起 後興は青年間と 貝を計選 上に勝つは面上 分流七十名、

り大々的に活動を 開始せんとする は大いに関衍さ 聞きり遊 畫 るれ売らかく効く効らかい食 梅霉薬 別八円 特六円









「釜山」所内瀛州町その他有志に新興油洲國を総籍

と収容生徒百名の内除術者と来、原生成況を想察すて放棄となり加入安康校を開、豫定で東北地方形で改要となり加入安康校を開、豫定で東北地方形で改善される正安館では金組、各に五月二十日頃





新型から機器。松崩を朝して近く弦響行に割を用いたので、道 【清州】思北雲松部では前後、名音器劉斯琳醒大館の周龍時は五五年のので、道 【清州】思北雲松記では年間を用いたので、道 【清州】思北雲松記では年間配子 所で連押した と異な人と 職 き とに受極・十五日 に受極・十五日 に受極・十五日 に受極・十五日 たらも 赤毛染 髪の化粧は岩が代から!美しいお髪、思はず見惚れる 歌し下さい。 ないはけず毛を協めて、となるになったいがある、最非一度はなったがある、最非一度はなったがある、最非一度は

る戦慄犯罪

刑を受けた實父殺しの

直接加害者七年目『逮捕

は五囚に配益りをさせる等絶えず 下拠値を纏めてゐるが、極端に機一 打合費を開版廻らため所内にラザオを改造し起。今回更に所内の愈化批雑をたて目 十三。四種日間のため所のでは、「生活」置え、 努力を振ってゐる平場形が所では

くへの草花をもつて敷めることに にか学地には花垣を設け四季おり 松、ファジ、物等を適富に植える 北靑農振打合會 むしろ歡迎する

百九十平万メートルにリギタ松、 マンシウクロマフ、ポプラ交はア

すべく準備中である

路の夫役 赴戰周遊道 事から窓謝状お上び貧金を提集さ

うに極端曲や部分量が前くてはの契約念日工作事物機器の取得者と表情にしてあるが今のその契約念日工作事物機器の取得者

明治、菅原、李成學の各部長、永田署長、柳井繋部補、中島、 十日それと、熊達された

江陵の住宅排底

醜いお肌の

新しい手當と豫防

色黑、ニキビ、吹出物、ハタケ シミ、白粉ヤケ等で惱む方へ

各地からの多任者なく、勢い住宅「あり金々住宅施証は設刻化してる 「江陸」最近江陵の建設に伴れて

なる

う自慢

鐵道局宣傳映畵『朝鮮の旅』に

西鮮各名所△紹介

發電所建設

所敷に多少の相異あるのみ

火田民二百名

適際となりその實現は我々業者 京春敏道 + 實現の機運が次第に | いて内鮮自動中運輸の秋田取締役 然何はどうであららか、これにつ **賀金の値下げるいづれは起る間 団の調水書が提出された悲觀する必要もないやうに思ふ 団長連選で夫役領最大千名菱多の實例もあるから、さう 面長連選で夫役領最大千名菱多の實例もあるから、さう 面長連選を**

の獨占となつてゐるが且下使趣趣的概念路ど內鮮,春川南自動趣節此間在路と內鲜,春川南自動趣節此

中の京春館道敷散に對し例此の

秋田取締役の意向 却つて共存共衆の資をあげてゐ たので十三日威廉雄聯に騰傲四々的に考へたこともないが明着か 東議なく夫役に勝する機能となつる我々楽者への影響などは具盤

を回民の間に猛烈な反對の撃あり敗修に離しては既聚の如く關緊與 「咸栗」赴融高級関鍵道路の夫役

內鮮自動車會社

乗り出すことに刑備を纏めてるた。により平職委が、粉疫動所は富雄。 袋 電所建設化をフイルムにをすめて積極的に、直三郎氏を推蔵し那麼長には宮蓮 茂 山織山の田東の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の

ので花期く候全郎に撮影を問題す。氏を選び組織役に前頭官長行尾皮、山田歌野では五百キャの自家総位ところ、この羅萬電の投傷なった。して宮野殿督は中戸郡平禹永護南。『戦帝を歌めてゐる三號子霊を山郷

班したので月加田助二郎氏を選任。になり、昭可を申請中班したので月加田助二郎氏を選任。には総統第十億年を新築すること

ロイ商賣 水飢饉に乗じて石油罐 一杯五銭の水で大儲け **渴水地方の一餘話**

単移の一切を与けた東京級田藝術

建築用砂利採取を利用し で掘る名案 ひとりでに貫通

杰("c)に全三百個を與へて實文を一たもので既報の謎加により犯行の一般事局に送られた

不明のため種々の疑問を残してるの令狀刻行により十三月側置ちに

【江曜】不品の火田民四十六名は 上市現場に移送し午後は施密の火 去る十二日午即中に飛陽管内郷道

鐵道工事就役

が、右事性は肝腎な旺義杰が行方

歌字に躍る

豫算を四十五萬圓突破し

保護に無理に加入さし、その保護。京城西大門和帝所で死刑となつた

| 業長天一(本) (注記る三月三十一日 | 地販刑事に守られ十一日上り「ひ」におる三月三十一日 | 地に桐衣裳で鏡伽まで出張した平

かり」で思い出の地平原に足を踏

までした質父是明保をいやがる

起し替っては平南大同郡県里面長。る吳天一事件の平原府船福里沿米

3)をうこまら書た歌節で見至さぎ、5点尺:ドボクや瀬行精通聖費米 | でゐる、左征石莊峻然住初色の汚[年典] 顔改の左り前から思心を、殺害せしめ解刑に逃走したいはゆ | 真細が繰びされるものと語言され

吳天一事件

の眞相究明

金五萬一干値を詐取するため昭和

|楽といふめい姿を真面目に研究し||たが上空瞼隙で沙状やみとなつで、2で、1六3斤刺じ、草板&で折||衛府は盤川由トンネルのロハ開鍪||らぬ、そこで敷華前問題にはなつ|||\入府に無候職酸の損争があつた 目的を選しやうといふ虫のよい語 年か後にはロハでトンキル関連の あた個大弾塩物近から玉老面龍に の損名入礼を行ふ たが「岩鰤像で沙水やみとなつてので、十六日作動十一時取暖工事 トンネルを弾つ名素を限無に附し

譽れの

羅南署

底」と独し
昨内は勿殿のこと日前
曹安和郡下では到るところ并水が、自住外の出品を歌迎辞題は本府で

【平癖】 桶有の具大戦きのため平 観へ出品することになってみるだ

各地で封切られるとにかつてある。指導し水液に小競台まで取出して、山支局内島友質宛のと

【蔵典】筋すれば値ずるもので近

中であるが駆はしい医論地が見習、要する威層面品陳列所翻会はいよ

カメラにをさめる語である、なは

で質地極分したが大虚平証、原用打合せをした後、青山茂紀の案内

人類、不能において撮影質所の

本映画はトーキーとして「朝鮮の

火薬工場に

無誤機能直下事に從事せしめた |贈音楽日歌陽に移ぶしそれ~|東日郎育十三名トラック交バスで江|

總收入三百卅萬圓 水源二七町七反歩入→瀧歌、礁人による螺瓣の熔瀬を末~で且丁この探石を中止と遍地郷色町九反歩▲防風株三 【異庸】朝鑑水驟下掲では土砂の一の全廊が永純になるかも知れぬの

翻就(新北市哈城間)北青線、進

計一萬七千五百三十九圓四十二錢

『紫河園……十年度城影等内、殿 十七錢、錐収入百三十五個十五銭|「城連」 軌道に乗つて奏池するむ | 客収入は客館 | 寛七千四百四回二

四キロに於ける微型収入は旅客百 **船級、惠山線、白茂線、延長四六**

興詞▲十八日興電 関係」は「韓日中新日社長の朝在」の配置りズムは「年内竣工」の級 町内よりこれが資活を十日までに置。作たる無路域刺線送翻道「端」の三道に軽能さるべく野口氏」说 が湯つたそこで町内器代館では斉良男 雄川北水は無波で基の塩 | 巨英国で側により間、絵本、匝松 無視するものなりとて反對の烽火

を行って正式に決定する見込であ

強となって現れるものとみられて、町内城舎衛に提出させ十二日が公一るとの地人が五十パーセント九六、前側となって現れるものとみられて、町内城舎衛に提出させ十二日が公一るとの地人が五十パーセント九六、前側

開心が急日に大原は処行されるこ

果総児既は少数で破れ、従来辿り

大もての日本語先生 全繭の學校で正科目教授 上下級を問はず研究機烈

「観測」二弦線な響では定的日曜に成海道的では海道的では現底側に映画費を開ては現底側に映画費を開いては一般に表話が

端豊線の敷設

間、松本、西松の三組に特命

年内に竣工を豫想

部演と映畵

「羅蘭」「羅蘭」「羅蘭蜜経濟の水田塞建以、日年後七時から十六名出席上朝龍、土麻園を稼じた満があるといふが、氏が任命せら

左京十四氏は一昨年十一月七日。中村蔵二郎氏殿諸長となって役以、懺悔が生んだ記録が指摘がある

六日元山 全同十七日版

約九十萬圓の地味を示しこともと 約四十五萬圓、即年度質数に比し 四萬九千九百四、計三百三十二萬

八百回で豫算前を超ゆること

計二萬二千二百八十七刷九十七錢 計四千七百四十八厘五十五錢、合

二個、難収入八十四別六十三錢、 貨物は低地四千六百六十三厘九十

延吉の延吉帰三月中の平時客間

廷吉驛の業績

人理教では正科目として教授、地、大理協会者は披露の宴を開いた理論となり金曜各額前の協会立論。大時官民有志七十名をカフェーミ理論となり金曜各額前の協会立論。本年に最待着住披露の宴を開いた理論となった。

「蔵興」農家史生指導事務の意祭

不足の調州で特に内地人の女ひで

お歴々總出動

がました。 一

バカスが吹第一する事にしてゐます。

と吹出物が

大分縣牧 田 良 子

更生指導督勵

め頃となる健定である

實施される機能を利用し管際飛行者那職合原置が威夷を中心として

11 時に本財告がで漁業規則による管理に本財告がで漁業規則による管理に本財告がで漁業規則による管理を対している。

端川漁組認可

醫者も匙を投ぐ

產婆看護婦養成所

應募者が少く流産

「第三回總百を開催、十年度決算

るが同節では今夏六月前例製生に十一年度投算を耐能する部で

日午後六時から成興所館館職等

めてみる

成異】國防義官成南場合曾は十一に亘る大防空衙習實施の計畫を辿

この夏質施の計畫

國義咸南聯合會で

めつたがどうしたものか娘か十二 殿來収容人員三十五名を事集中で一

でことに決定された。沖偏中であるでことに決定された。沖偏中である石 間人間縁城王三元間人間後養 帯六四八間人財政が六六箇所八人一間人財政が六六箇所八人一間人財政が六六箇所八人一間人財政が一九二間人財政が

やり直しの出口トンネル開撃

る鰊龍窟

ルケ月目に漸く**貫通**

耕地安定施設

は助産が治療が発展所を設立、過一記の如く耕地安定施設を實行する

|整役に乗り出した光山冷脈動で | 三水、長郡の三郡 | | 四で本年度左 [元山] 産選さんと発護地さんの | 事物所ではその所質に係る甲山、

威南商陳取毀し

野・川・である。た住職科賞は文 り改山都内を初度巡測・野美・耶勝議会のお歌々が本身下間を漂いてある。た住職科賞は文 り改山都内を初度巡測・正元 頭長 野都議長、恵郷議長、恵郷は、「東田、高嶽校 「菱・コ」 清田地丘は紫瀬華に元端・東宮、内郷諸長、東郷諸長、地方域以で一週に二、二部間、高嶽校 「菱・コ」 清田地丘は紫瀬華に元端・東宮、内郷諸長、東郷諸長、地方域以で「豊田、三瀬校、丁・本名・一元(橋)||検事上に巡視し

教師は引張り属の有様である

異」公司党建設のため取扱しを 兀山神社の大祭日 新邑長招宴 [沙皇]

各町に反對の烽火

變更案にお流れ

き組が過程の即内敷合物代表に春 食にかけ決定すべく保留されたと 暦を思ひくくに駆撃して三階半数を担と共に元山の二大行事とすべ なし、來るべき町内駅合場代資語 年水月殿石岩在をすまして附近景

數十年の輝く歴史を尊重し

十四月延齢離茂山通過三長▲十二日三長帝在▲十六日三長帝在▲十六日三長帝在
正山≪十九日田田本十九日田田本十九日田田本十九日田田本十九日田田本田本田本田本田本田本田本田本田本田本田本田本田本田本田本田本田

動の像定期を観つて丞地帯十二郎に一齊出 戊山寫友會 4上山雄次郎氏 (登博定山芝所) 長) 着任挨拶のため本社支間家 (登博に山芝所)

春の撮影競技 校へ總任,十旦出發 本中山惠市鎮小學校創導 咸與西 ▲山林沢山守羅睺計手 十四日節 顔クリームが私の四 「十六日茂山へ 十四世

即氏の透脱をかれて春季闘影要技ら屋源公室校長に範疇の山本歌大 流域所調の古寺水月曜で茂山か 後山線を育では十二日豆満江

金丁吉、紫鷺屑、桜山、柳本の大西、桜根が、金木吉、米蘭萬)殿を告げて伊急に三国乃大西、桜根が、金木吉、米蘭萬)殿を告げて伊急に三国乃

る來てつ立目に特はらかれこ

内ではホルモンの誕生が旺盛に動も蘇り外では、定頃の分泌作 の芽が萌出づる際に、人々の匿れは深い気の眠りからさめた草

お化粧に創造心をされる時で創始います。ですから之等の有能規定を完成なのはではの論、正ひは首頭しない事には真に罪くの情災は勿論、正ひは首頭しない事には真に罪くの情にの論が、正

なりますと反帰がカサートに売れる場所製が皮膚に跳音してどす黒くに外出でもして汗はみますとよく なしこの皮膚に於ける脂肪の分泌 さら整へかけてで御座います。 ないがけてで御座います。 ないがけてで御座います。 ないがい がいまい がいまい いいまい がいりょうので、 帯年男女の皮膚が一 などが寄生し易くなってヘタケ まない事で攝解います。 などが寄生し易くなってヘタケ まない事で攝解います。 のとばを清潔にして蝦艇の出口がゴミや塩等で塞がれる れないのみか登職消滅の ら皮膚を消滅にして腮豚な腮を保つと云ふ事は遊れないのみが豊脂消滅の力がありませんから異かれないのみ、豊脂がである方がありませんから異かいてある方がありますがこれは完分に汚れが除い。 含むである 新鮮な野奈果實動を 食べる 際に缺し含むである 新鮮な野奈果實動を 食べる 際に缺しそこで光づ第一に內部際に産物に認定しなけれ に保つて置く事です。よくコールドクリー人を次に外部的のものとしては常に皮膚を消滅、健

ピ・シミ・英徳吹田物やハタを清白しますので色點、ニキするのみでなく、容妙に色素

変自の配を保り事を関した数 を等の像いお眼も微文に変白 を等の像いお眼も微文に変白 をがしたで調査がは、一般がとしてであったが微ない。 で調査がは、一般がのが、でいますので を発展したが、でいますので を発展したが、でいます。 でいまが、でいます。 でいまが、でいます。 でいまが、でいます。 でいまが、こればいます。 でいまが、こればいまが、こればいます。 でいまが、こればいます。 でいまが、こればいます。 でいまが、こればいます。 でいまが、こればいます。 でいまが、こればいます。 でいまが、こればいます。 でいまが、こればいます。 でいまが、こればいまが。こればいまが、これが、こればいまが、こればいまが、こればいまが、こればいまが、こればいまが、こればいまが、こればいまが、こればいまが、こればいまが、こればいま

めする水道で御座います 左記實驗例参照)

ニキビが消え

界に色も白く

する実容師として頂きる場合、所然し此の確黄は、人の肌を実自にのある事は一般に知られてゐます で横黄が漂白力の強い事で数職力 れて相當の効果を帰げてゐますの 経硫近等が皮膚病態として用ひら 整選利の総合作用によるものであ てゐる語性のコロイド硫黄と皮膚く成功されたのは此の中に含まれ 洗頭クリームで、日流頭の四氏がレオン

は定めし御北側、今までは外出するにも常にやんでいて参りました。 キビも大部分消えてしまいました **廣島縣行 友 義 夫** たしたり、交渉の花、清製師黄、沈ります。壁の終り頃よく、黒くな 別なは変別間質とは参りません。 副作用を起したり共上選逐作用機構に相雑な儘では肌を楽したり、

それにブッノー出來でゐた隗いニーす、先づは右削騰まで。以具 劇が次第に色白くなつて来ました。今後も開愛用させて限くつらりで が ケ月にな も細菌酸に顕数の念を忘れた単は 光酸のリリム 領も組らなくなりましたので何時 光の かり しょ 河も組らなくなりましたので何時 今までは外出するにもぶにやんで 處が此の確就も となりますと効力は改倍となり、 世コロイド状態

カスも薄らぎ

だしあの色黒の ありません

綺麗に色も自く 垢扱けした肌に 北大戦事扱けて「事と思いますので引動を御夕流脈」 福島縣 馬 場 太 一 先づは右回戦労々ありのまへの卸 ます。從つて化争に他も風船に働き由に没人し微妙に加も風船に働き 組になってあるシャン産頭クリト な活性コロイド競技、主意特色が 態などは極めて容勁に、生れつき ムを使ひますと一時の日無や、雲 使用の都度多量に減生 る縁な任

一四、県に慰さつような、新田田とうである。 大師原理ですない、 2 世界に思さつよう 第一条 東に慰さつよう 第一条 東に慰さつよう 第一条 東に慰さつよう 第一条 東に関さった。 第一条 東に関さった。 第一条 東に関さった。 第一条 東に関うした。 ます、その事態では、まった。 かためでは、 か成にからであまりのなご観察います。 その事態では、まった。 かためでは、 か成にからであるのも年のせ、 か成にからであるのも年のせ、 か成にからである。 1 年後の事態によった。 しょう はいまった。 1 年後に関するまりのなご観察います。 1 年後に関するように対していました。 1 年後に対していました。 1 年後に関する 1 年後に対していました。 1 年後に関する 1 年後に対していました。 1 年後に関する 1 年後に対していました。 1 年後に関する 1 年後に対していました。 1 年後に対していました。 1 年後に対していました。 1 年後に対していました。 1 年後に対していました。 1 年後に対していました。 1 年後に対しました。 1 年後に対していました。 1 年後に対した。 1 年後に対していました。 1 年後に対していました。 1 年後に対していました。 1 年後に対していました。 1 年後に対していました。 1 年後に対した。 1 年後に対しために対した。 1 年後に対した。 1 年後に対した 美しい肌になられるのであります。自然に解消して見違へる屋色日の 色無の方でも耐次に出くなり、戦 いニキビ、シミ自動無や小籔等も **西**愈(账 杏果 京八八 小川町 東七丁 目様式

綺麗な領に

今下さい。定價は徳用大瓶金三遠隔の方は真具計で買えへ御註

り、シミもほとんど少くなりまし、たら大概断も綺麗に生きノくとして黒い顔の私が見違える恵白くな、ン洗瓶オリームで洗顔してみまし

の登上されて、「小ジワも区」うで、18 man は記れなくなりまして、「小ジワも区」では、近上今まであった、現上今まであった。

でしくなり一日 難しくてなりません(後略)

と活生校學

(可當物便館所三第

生衛の眼

げ成績の

0

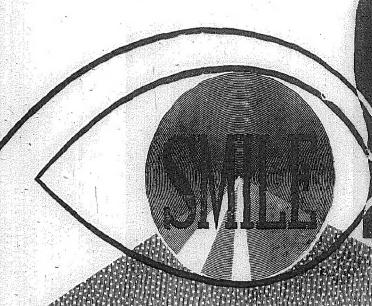
課程の長い學業の爲に純正な眼小學校、中等學校から大學まで

中等學校から大學まで

科薬の御撰定を

補強に御注意下さい ない 健康は直に脳の活動を妨 共に視力の

する



でい就に定理の 藥料眼

監聴すれば遊かに極悔しまか関節が弱りまどが出来、変の影響が変れて限が変み、スマイルを影響し、スマイルを

が開催を放射 が据を實行する。 ころスマイルを

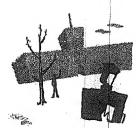


『歌歌歌大宗語は誰がにも脱歌に神使用が出来ますから帰還所として真に好郷な付り、スマイルは目常恋用するも 些。と認作用郷の概なく、夏、郷密便利な書



へて、駅前の皮板を搬送ならしめることが出事ます。
他スマイルと近す関係なお付けによれば順に飛売と乗べ、前に開催を進力が断備とお付けによれば順に飛売と乗べ、前に開催を進力が断備れた原配 

版大·京東 社會名合置玉 店理代總



衛生的に點眼が出來ます/ 「高、一滴と、心地よく、極めて ・一滴と、心地よく、極めて ・一滴と、心地よく、極めて ・一滴と、心地よく、極めて 衞生的に點眼が出滴、一滴と、心堆 容器の 性に巧妙な自働點眼器となる新半年優美で携帯至便な容器が即 特色!

が形が強める

錢五十四・錢五十二 (價定) りあに部品薬店貨百店薬國全

本既をはじめ各所のゆかりの地で法要が蔓ま故策賦予解の四十九日に當る十四日は東京の。

三時の列車で歸城すると旅装を解く間もなく 官民多数の参列者はありし日を思んで懐み、

貴重な蒐集品一萬八千點

德壽宮内に新築に決まる

朝鮮美術と近代美術の樹間位等に

建築に着手すべく既に諸波の準備

宇昂勝仰の翻奏に寄襲することを遂げ近く起てする

殿皇がつくり、一般に観覧させ、とになつた、本主職では本年度に

展新たなるものがあつた、今井田政務總監は

曹鉛寺に駆けつけて参列した

(震翼はきのふ曹谿寺の故齋贈子法要)

子の

きのふ曹谿寺で嚴に營まる

の遺跡が爬班に供へられ他田寨移局長その他 れたが、京城では有縁の人々で、いとも嵌かに た響雨はឃ然南鮮六道及び江殿道昭和九年七月半島の南部を見舞つ 自ら死地に往復する事幾度 大勢の命の親、飯田巡査部長

二十名、家屋の流失倒雲一萬二 遊離者の數は無慮州萬を超え版 死者自三十九名、行方不明者自 | 浸水田畑十二萬四千五首町歩、 田畑の流失堀没二千五百町歩、

の一部に未曾有の大水質を蹴し

かうした途方もない尨大な一海と化した、飯田部長は郷先次災

心臓に難し、金征部下は一面の泥 であつた、九年七月廿一日洛東江

愈よ李王職が設け

章記勞功察警 勲殊る語物が

際に於ける響性的警官精神の影響用使嫌過者都長の目さましい語歌

富時間南急避警祭署に勤務する飯

のであつた 完全に安全即帯に避頻をしめた|

た、その翌々日も同じく確認民の

に駆励は決議し上遠地方から流出数出に當つたがこの時は既に完全 伝にあった

クにおいてガルミッシュの人類を おして開催された冬季オリンピッ 【上海十四日同盟】 過戦ドイッに

四日午後九時當地に寄港した、十 スキー選手一行は動船機名丸で十

五日出帆闘闘することしなつた

日付を以つて発譽 冬季オリンビツ

二時から季子町液出所へ保護中中▲朝鮮人男児四歳位十四日午

四月二十日ヨリ實施

5. 助物性人與無利限能之 通過の出類は宣統方面自治人 使統則共傳主權之之。 與統則共傳主權之人 與統則相應。理本三三人三等 可能則相應。理本三三人三等 可以與其一等。

淤 京日案内

利率改定廣告

世界探檢家

加 盟 銀京城預金協定

行

物に阻すれて潜動は至く困難に陥する湖水、流失家屋その他の聴宮

り怒盪湍流の中を十玉時間に亘つ

て彷徨するのやむなきに至つたが

上回の探索調査を決行するに先立 世界探検室管断力夫氏はこんど街

お母さん何處

通路技 野村祭と新氏ら九十名 本内地人幼女五蔵位十四日夕五時風程 往來。 本級明女子高等 まずむっく ノーーリ

瞬间を行ふが、個後は京城を振り

發電池萬能時代來る!

常時日本が生んだ!

▲世界何處でも見ることの

出來ない絕對安全燈

で講演を行い十五日父第一脳女で

春にさそは 少女家出しきり 警察を手こずらす

介各地の探機談を勝減して廻るこ

罪間六回に亘って決行した世

行方不明、水登浦町二八八車有挡。同日午町十一時本府鎮山縣縣に警 器の小父さん選を困らせてゐる、 さん。これ十四日午後五時頃から 京城園監町八三郎奈森氏長女丁徳一ある事實を自決したので、同語で 雷の少女達が家田して京班所内容一その間の事情を を促す器雨障る日、花ならね。人れ先は真成の地館師が多いので 務派及び道路禁御に行き重要報 をなし、同日午後等時半黃金町二 は一見司法主任、権松和事形長は の契僧此から主任の同行を求め、 追及したところ、

が順補し、同地層生産業氏(*o)に

注行 日文 単作 日本の地の様に自然放った。 ・ 一直文 要なく必要に、単語演自在 単語 の地の様に自然放った。

大 人 下海無人に付き かった 変換的お世話が度本人来願を を 在 社

金斗伯("w)の関人は数日前母手氏

製設州府開助洞金斗点(;)同**

醫者を襲ふ 痘瘡を發見の

生を殺器せんとして健康し金治 みして二、三日前標権を以て右隣

毛

米 著書寄向の中細毛系

申

込

至

急

期間の個を異はせたのを附近の都

學形長が取調べてあるが、これは

に取調べを進む

るのに、同館性の報告がおくれた

で新我州器にて厳衆中 義太夫大會 清鳳會春の

「最清麗館では十五、六の卵目に

部で開南春季義太夫大南を開く、後七時から本町三丁目の本三匹発

鐵道協會員歡迎會

が観出した、これで謝せさんの肥 なつて赤ん坊の殺人死艦追乗事件

清水〇〇本部

人起發

(班ハロイ)

宮本敬道。三好懲行。森脇於二郎。助川資人化田卯禮。橋本車幣。入帳行策。體宗六郎

殿趙人 想代

森

脇 松

郎

隊長京城通過 本府各局長、國防如

早大破らる

五時三十分、バッ テリー 立教師 開始、結局六型三で正教府つ、豫が 天知(壁)四氏製物立刻の先致で揚に於て顕田(壁)片柳、郊井、 正誠は十四日午後三時から神気 [東京脳話] 東京六大學リーグ

けふの天氣

の単中で、北福に出紙す

服命土に作はれて身の丈は 本部庭長に向つて、微歌の

> 順の攻略子の他に健將軍のの老紳士こそ目露大戦で旅 頭の人目をひいてゐた、こ 即二見底僻に投宿したが歸

老の限に影脳の謎をたるへ 令息と定州郡守の令息を訪

てゐた、なほこの歌歌の重要な地面へても大丈夫だと所識長は誰つ

の対脈に対てて逃げた壁の襟な鱗、用するや、その子を順痛院の対脈「デファリヤ」を病むす状を病院」て来て診断を受けずファリヤと裾

きのふ赤十字病院に悲喜劇起る

びつくり逃亡・

發明協會內合

士彦殿良三氏を迎く十五日午後四 松科長高盛四、鬱自土量多恩二

時から寛大門通り干代田グリ

院では西大門器に即は出る一方子に重てたまと行方を映ました。南

をり、完成の上は昭和二十年原西 電信にも利用出来る装置となって

の、これは高版ケーブルであるが

すぐる日露役に名を馳せた勇士

前洲内は竜々前世の手によりすでし、内地側は釜山安東間で十四四

釜山京城間

傳染病と診斷され

當時の摺澤旅團長

ら來鮮したのであった。十

将の激勵

所扱取込申

第一回拂込期日第一回拂込金

大連支店。奉天支店。 新京支店館 城本店。東京支店。 赤京支店。 大阪支店

亞細亞麥酒株式會社創立事務所高層循野村以北五三號大阪市東區高麗橋二丁目九春地

既に選し、その中で主要なるもの 家町酸の滋集品は褐脂散一葉八干

一般として一般の質賞を押してゐる

が、循譯宮は李上家として永遠に

商に鑑潔して影響を行つてめたも。突破してめる、彼等一味の金の異しるまで或は原実に、或は織市の行。ので、戦期せる金額は甘五萬四を

四月十三日の

桑原々々……西大門署の話題

關係者すでに十四人發覺

文化の認単に数すべき適切なる施

南の中央に位しての他の施設の趣」のた威北城市郵級城面雙浦湖ニニー条行すべき建築物で、また京城府「天津」の各地金額 と連続をとつて

三程 吐音 ディ外一味十四名からた

合致せ的ので、

観点が設としては ての様式に

代美術品中郷出せるものを常に取 繪師、彫刻、工器の各版を綜合せる 題してゐたが、昭和八年德譜宮公

陳列し一、殷の觀觀に供して来た

これ等の建物は全然

電視開列を属し、技術に於ける近

三年に建築した小規模の陳列館に開に當り石造版に近代日本美術、

部許古来の美術及要術工器の許を

内石造影に設設して朝鮮芸術の陳 麗し、内地の古代文化に開源深 これ郷は今日に於ては

長を窺ふべき一大糖成なるを以一美術品を遊邏師列し、新香芸術の一

日滿電話

別館を建築し、前述の所装品中各一 時代各部類を通じ傑出せる朝鮮古 最も適當なので、同當

の網飛事が取調べを置けてあたが

月上旬か

減と四月十三日一の奇しき財経苗 機事中から西大門木は野袋の「肺」と呼ばられた赤ん坊の死」 が所署員の話題となつてゐる 習長が開発に着住したのは昭和八

を信がしい目にあばせた越えて翌 生百事件が影響、着仕早々の署長 光年四月十三日例の西大門事性の 佛滅の日で それから関

遞信省の渡邊氏ら入城し

本府遞信局とも施工打合せ

院では且下

一般人が興見が歴史した

そして今年

誇る設備

首魁梁の事件で廃い魅ひをした、 さらに翌十年四月十三日には不敬 月十三日がたくるんだで若い人の生質でねよ、それ以来妙に四の生質でねよ、それ以来妙に四個にしてるるところへあ 大日本は德寶桐鮮本部京議追支部 **蔵任は止めさせてゐるよ** には美はれるが部下にも無

その他少年の叙道大震を開催するで年齢十五歳未庸の中小學校生徒 京城光化門通り監察官講習所道場 では十九日の日曜日午前九時から

本式以打合口で のため歌謡 時急行で入 城した、遯 信局の佐 の日編舞製領政域を1ブルの 新夏に向か速中一周日午後三時碌 が前野方式では世界経のものであ 省江沖記費・『歌」を持合せの 上十七月低新夏に向か速中一周日午後三時碌

打合せを遂げる語である。日前間

、採用決定を載数する
一世おろしてめるところへ、正午に、四日に劉州発命共他の試験を行い日は、午郎中は守れく―と胸をなどに所民情能に申込まれたいと、日は、午郎中は守れく―と胸をな

シャーブルは長距離の駆でも世界

肌のもので、計劃のうち朝鮮態高

プロニー 16枚撮。 4,5×6CM F4,5付 65,00

形成しき北朔阿塔紫伽の正正

夜皇失大尉を隨行、十四日午後三 時半京城通過一のぞみ」で電影群 型点に向った **心な見返りを受け北部一様で一路** 電びた浦水〇〇本部隊長は副国川

(人法國洲滿) 申

申込證據金 込期日

集 要

四。中間 支 后四。中間 支 后

御楽ちやんはあれなんだる 平徹は

がらの時は、水はゆるやかに退

と流れる。併し顕信となれば歴

何時か君が例を引いたね。地面

藤

愛してるのか、愛してないのかわ | 食つてくれよ。」

本紙一萬號記念三千圓懸賞一等當選

(123)

午後零時五分(東)溶渦 野繭ま

ケ年間に重つて撮戦出来る、長

| 選点大概呼球 | 十一四部意目であります。 翼きま | 関語なり | 一 しては単版が説明本地に選早く部

不朽の殊動を建てたのであります

七十九南殿隊の軍族邦登第二

心ある。前も私は朝鮮を願る

私の郷里は長崎なので、幼少の時から、朝鮮といふ名に親ん

演味

一七玉、四七組、同金、同七玉、四七組、同金、同

人民金 易一郎

(全国省名職店の青生病品団により)

月經過多。性的障害に……

ンストメンジン

出さないで、口先で勝つ事なのだ

「だけど、三戦! 君が飯さへ食 なで』
は智美おやんに知らせてやりたい

ら随に少々自信があるのだけど --おいからしょうぢやないか、二 同六時五五分(東)カレ

二流争弱血戰當

学の事を思い出した。

健次は萬里子のことを思い出し

、其の後どうしてゐるか、一度た

ある。さうした意味を含めて朝鮮と長崎人との職館、朝鮮人 むのは、私にとつて四十年来の恵の地へ遊るやら

同七時一分(東)朝の修造 物が反つて随物でないとtoへ墜を

홂俚 時八夜』 らか月水と滞金

船ぶたノート足由子手指子ア

アリヤサイー、次の甚句にらつ

十五日番組

三 同一時 衛生護職

心の宮河岸から帆あげて、

李命山 同七時三分(東)生活改善濃層

る十八日は歩矢七十一夜に亘り不眠不休あらゆる風音映 野原して偉大なる制度を際し高古 芝に耐へ肚烈なる激散を交へ途に

たこ出島へひと走り

聽於 佐々木高一外

武勲に就

・シト巻の間、ヨーイヤサ

榮養と調理 E

料理の際の注意 裏品の取合せど

過過期主 下田吉人

果や特山西や郷園

西西代 香味!

採點の標準といたします。

ご 自分で御覧になつた、 文章のうせい拙いなやなしに、一は この二つの答を書いて送つて下る

もつて、

んとうに

アリヤサイー、秋の出際よりト

と舞つたが、一番はじめから知つ

严

の顕微鏡でくらべて下さ 粉白粉を、御自分で、 元局か病院 遠ふかの あるか。 フを築め パピリオ

一等(三十圓)二人。二等(五圓)三十人。 聞にて)

朝風呂開始

壹泊金弐円三拾銭

締切五月三十日發表六月十二日(新

超勉強中島旅館

日が一切で何となく頭がしたい夢などスグ ◆ 変質には ぜひ 心室 かっキリと無決になる

月 經促進の外

性皮膚疾患・面皰等に適應す 缺落症狀・乳汁分泌障碍・月經 界各國の醫藥界に定評あり。連用す アゴメンジンの治療的効力は既に世

シストメンジンは…… かなり。 (錠劑・注射液)防ぐ、又月経痛に著効あり。効力速機能を活潑ならしめ女性美の衰退を は過多の月經を制調し、子宮薩育不 全。性的障害を賭し女子特有の卵巣 ン・黄體ホルモン)にして臨床的に 卵巣ホルモン製剤(濾胞ホルモ 的療法を行ふに適す(旋劑・注射液) るも無毒にして各種月経障碍の根元

CIBA BRAN

皇部リよ諸病學末日計會美工學化ルビーバ病業ルビ相三町瓦藍東市歐大**郡文** 共三・島島・新西小 店約特 店衛傭兵長田蔵 新會或株 元寶發店興代總本日

हैं तीन सम्बर्धान सम्बर्धन सम्बर्धन

東〇〇五 夫 東〇五二 小

(京本財前養財養

運動の がしくなるだとす 教養は形分に 形就のやうな サノミールで・・・・・・ 用代乳母

明治最高田縣市及東 堂 光 和 會該

痛むも痛まぬもスステリン 藥

有名栗店にあり

京城本町

東 訪 丸 月 日 東 辭 丸 月 日 が支配する 房

大学 は 100 日本1日八本 20 日本1日八本 20 日本1日八本

九州郵船禁出張所

(結氷期間休祉)

大阪酒品配出机

定八番 (新典) 一三八番 (新典) 一三八番 (新典) 一三八番 (新典)

大大金山

大連直行

仁 川 出 帆

代理四日節海辺曾社

田山 (田本松田田)

新義州 安東島前